2026年11月 Japan Academy of Critical Care Nursing Vol.16

News Letter

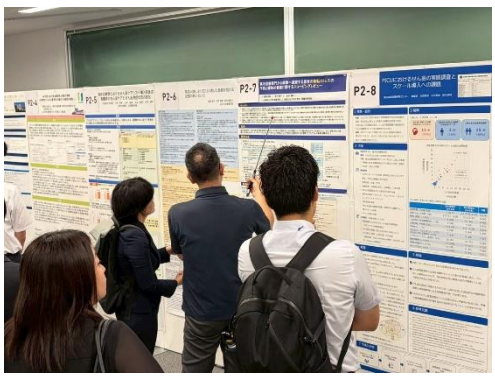
発行責任　日本クリティカルケア看護学会　広報委員会
【一般社団法人　日本クリティカルケア看護学会事務所】
〒162-0833　東京都新宿区箪笥町43　新神楽坂ビル2階
TEL：03-5946-8847 /FAX： 03-5229-6889
E-mail：jaccn@supportoffice.jp

目次

1．第22回日本クリティカルケア看護学会学術集会大会長挨拶（北村　愛子）
2．参加者の声から振り返る第22回日本クリティカルケア看護学会学術集会
3．委員会企画から振り返る第22回日本クリティカルケア看護学会学術集会
(教育委員会、将来構想委員会、編集委員会、研究推進委員会)
4．編集後記







1. 第22回日本クリティカルケア看護学会学術集会大会長挨拶

医療の高度化・複雑化が進む中、クリティカルケア看護には、多職種と協働しながら患者・家族に最適なケアを創り出す力が求められています。本学術集会では「共に創り、発展する」をテーマに、チーム医療、テクノロジー、教育・管理、患者中心のケア、地域連携、研究・実践報告の6つの視点から学びを深めました。実践・教育・研究をつなぎ、共創を通してクリティカルケア看護のさらなる発展と次世代への継承につながることを願っています。　～集会長講演より抜粋～

大会長インタビュー



日本クリティカルケア看護学会
第22回学術集会長
北村　愛子氏

今回の学術集会で
一番伝えたい
メッセージは？

※SNS投稿の発言内容を
News letterに一部編集

Q.1 一言伝えたいメッセージ

「共にクリティカルケア看護を創っていく」

大会長のメッセージとして、参加者の皆様と一緒にクリティカルケア看護学を創っていく思いが語られました。

Q.2　注目してほしい企画

「すべて心を込めて企画しました」

特定の企画だけでなく、どの企画も参加者の皆様と共に創り上げる場として準備されたことが伝わりました。

Q.3　参加を迷っている方へ

「皆さんのお力で、学会は発展します」

来場する一人ひとりの参加が、学会の発表につながるというメッセージで締めくくられました。

北村大会長インタビュー
動画ご覧いただけます！

学術集会に込めた思いを、
ぜひ動画でご覧ください。



北村大会長のインタビュー
動画はこちら

2.　参加者の声から振り返る第22回日本クリティカルケア看護学会学術集会

学術集会では、発表への初めての挑戦、日々の実践・研究を深めるための学び、仲間との交流、そして子どもと一緒に参加する姿など、さまざまな参加のかたちがありました。Instagramで発信した参加者の声と会場の様子から、第22回学術集会を振り返ります。

学ぶ

発表者の姿勢や会場の雰囲気を学び、自身の研究につなげようと参加した方もいました。



雰囲気と発表者側の姿勢を勉強しに、今回参加させていただきました。

楽しむ

学び方も、参加の仕方もさまざま。子どもと一緒に参加し、託児を利用しながら学術集会に参加する姿もありました。



お子様と一緒に来られる方も参加できる学術集会。



つながる

初めての発表を、周囲の仲間とともに乗り越えた参加者も。学術集会は、新たな一歩を踏み出す機会にもなっています。



初めての発表に挑戦！新たな一歩を踏み出しました。









◎ Instagramはこちら

初めて発表に挑戦した方、研究や発表者の姿勢を学びに来た方、仲間とともに発表を乗り越えた方、そして子どもと一緒に参加した方。それぞれの目的、それぞれのスタイルで学術集会に参加する姿がありました。

3. 委員会企画から振り返る第22回日本クリティカルケア看護学会学術集会

学術集会では、各委員会による交流集会や企画が行われました。SNSでは、それぞれの企画内容や参加者へのメッセージを動画で紹介しました。ここでは、SNSで発信した委員会企画の一部を振り返ります。



教育委員会

「学びを支え、未来を育てる」

クリティカルケア看護師に求められる力をどのように育てるかをテーマに、参加者とともに教育のあり方について考えました。



将来構想委員会

「クリティカルケアの未来を描く」

「私たちのクリティカルケアはどこに行くのか」をテーマに、実践・教育・管理、多職種連携の視点から、これからのクリティカルケアを参加者とともに考えました。



編集委員会

「学会誌を支える取り組み」

多くの参加者が集まった交流集会では、学会誌への論文投稿を身近に感じてもらえるよう、投稿や掲載につながる内容を紹介しました。



研究推進委員会

「研究をもっと身近に！！」

研究をもっと身近に感じてもらうことを目指し、研究を進めるための学びや支援について参加者とともに考えました。

編集後記

第22回学術集会では、「共に創り、発展する」をテーマに、多くの学びや交流、新たな挑戦が生まれました。広報する私たち自身も、参加者の皆さまの笑顔や言葉に触れ、学会の魅力を改めて感じる機会となりました。今後も、学びやつながりを皆さまと共有し、クリティカルケア看護の発展につなげていければと思います。　　広報委員　石川　智也

広報委員会　委員長：中嶋武広　　担当理事：森安恵実
委員　：池辺諒、渡海菜央、茂呂悦子、尾崎裕基、石川智也